

一般質問通告順序表

No.1 (令和 7 年 6 月 16 日)

番号	質 問 者	質問の相手	質 問 の 要 旨
1	濱 田 尚	市 長	1. 地方創生 2.0 への対応について 石破首相の所信表明には、地方創生の原点に立ち返り、地方を守り抜きます。「地方こそ成長の主演」で、地方創生をめぐるこれまでの成果と反省を活かし、地方創生 2.0 として再起動させます、と力強く述べられた。選ばれる地方として、本市はどのように取組んでいく考えか。 (1) これまでの総合戦略の評価と今後の方向性について伺う。 (2) 地方創生 2.0 における「楽しい」は、重要なキーワードであると思う。地方の未来創造に、また希望と幸せを実感する社会をどのように実現していくか伺う。 2. 商工振興について 市内で大多数を占める小規模企業及び中小企業は、雇用創出や地域経済の発展等、市民生活に重要な役割を果たすと同時に地域に貢献しています。持続可能なまちづくりを図るうえでは、これらの企業の経営の安定や持続的な発展が必要です。 (1) 中小企業・小規模企業振興基本条例の制定状況や理念について伺う。 (2) 本市でも地域経済発展のために、条例制定すべきではないか。
2	田 畑 和 彦	市 長	1. 認知症の対応について 3 月議会で認知症に関する質問があった三日後、本市で認知症の方が行方不明になりお亡くなりになった。本市には認知症及び予備軍が約 3,000 人いると言われており、いつ徘徊事案が発生してもおかしくない状況である。 (1) 市長は命に係わる“認知症”について、どのように受け止めているのか伺う。 (2) 直近 3 年の行方不明件数やその結果、徘徊行動のケースについて伺う。 (3) 見守り SOS ネットワーク登録者を増やすための計画・手段・周知について伺う。 (4) 見守りタグ登録者が少ない理由は、何が原因か伺う。 (5) 早期発見保護には、躊躇せず徘徊情報を早く発信することが重要と考えるが如何か。 (6) 捜索や情報提供協力者・協力機関は、どのような箇所に呼び掛けているのか。 (7) 徘徊模擬訓練は重要と考える。訓練について伺う。 (8) まちづくり協議会のボランティア捜索活動時の炊き出し班に対する補助制度は必要と思われるが如何か。 2. 資源物・ゴミ出し等について 本市の 65 歳以上の高齢者は全体の 4 割である。高齢者から膝や腰が痛いなかでの資源物当番は、困難！難儀！であるとの声が多くある。 (1) 公民館によっては、「資源ごみは当番制」になっているが、廃止・見直しを検討してはどうか。 (2) 公民館未加入者のゴミ出し対応について伺う。 (3) 外国人の方へのゴミ出しは、平等にすべきと考えるが如何か。 (4) ゴミ処理について、将来を見据えて考えると、隣接市の処理業者との連携を検討すべきと思うがいかがか。

3	東 育 代 市 長	1. ハラスメント防止の取組について (1) ハラスメント撲滅宣言や条例制定など、各自治体の取組が進んでいるが、本市の考えを伺う。 (2) 全国の自治体でカスハラ（カスタマーハラスメント）防止条例を制定する流れが加速しているようだが、本市の考えを伺う。 2. 消防行政について (1) N E T119 緊急通報システムの取組について、令和 7 年度の新規事業として導入されたが、具体的にどのような取組をされているか現状を伺う。 (2) 市内に分娩できる医療機関が無いことから、妊婦の緊急対応及び不安解消のための取組として、消防本部で妊婦情報を共有し緊急時に備える取組が他自治体では始まったが、本市で取組む考えはないか。 (3) 救急出動について ① 一般負傷者の救急件数が増加傾向にあるようだが、その分析はどのようなか。 ② 救急依頼が重複した際の対応について伺う。 ③ 職員数や救急自動車数について、現状で十分なのか。 (4) 消防は、火災・救急・災害対応など、緊急・迅速な対応が常に要求される。現在の職員数や消防車両の状況を考えれば、消防本部と分遣署の統合を急ぐべきではないか。 (5) 知識が豊富で専門的見識をお持ちの消防職員 O B が市内には沢山おられます。O B の方々に協力をいただいて、消防のバックアップ体制の充実を図ることはできないか。
4	大六野 一美 市 長	1. 本市の食料自給率を問う (1) ロシアのウクライナ侵攻以降、全ての物価が高騰し、全ての市民が苦しい生活を余儀なくされている。とりわけ、生きる為の基である食料に関し、本市の状況をどの様に認識され、どの様に改善しようとされているのか問う。 (2) 減反政策による荒廃地増や米価格の異変について、どういう角度でとらえておられるか。又、どの様な政策をお持ちであるか問う。 (3) 自給率をアップさせる為の施策をお聞かせ下さい。 2. 観光地誘客と整備について (1) 本市観光の基点である西岳 2 号線の道路拡幅工事が遅れている。令和 10 年度迄の計画である事は承知しているが、冠岳一帯は登山客も多く、早急な整備が必要ではないか。 (2) 洋上風力も県が国に情報提供され、市長の施策の 1 丁目 1 番地も動き出した。 観光や経済的見通しを問う。

5	吉留 良三	市長	1. 女性や若者に魅力あるまちづくりの推進について (1) 地方創生 10 年、東京一極集中を解消できなかったのは、賃金格差や男女の役割分担など地方の根強い因習が原因と言われる。3 月議会で「男女共同参画推進条例」を制定したが、市長はこれまでをどのように総括するのか伺う。 (2) 「男女の役割分担」などの解消に向けて、「男女共同参画推進条例」をどのように周知し具現化していく考えか。 2. 身寄りのない高齢者・単身者問題について (1) 少子高齢化、核家族化、家族関係の希薄化等の影響で身寄りのない高齢者・単身者が増えつつあると思うが本市の現状はどうか。 (2) 身寄りのない方の「お葬式・行政手続き・遺品整理等」の対応についての本市の実態と自治体の役割について伺う。 (3) 相談窓口を福祉課の係などに一本化して、医療機関や施設等からの相談を受け付け、関係部署との連携を図っている市町村もあるようだが、本市の相談窓口の体制はどうか。 (4) 令和 5 年 12 月に厚生労働省の身寄りのない高齢者への支援に関する実態調査が行われたが、主な調査内容と本市の回答はどうだったのか。 (5) 身寄りのない方の支援について、包括支援センターや福祉課などにおける具体的な相談事例と現行制度での課題を伺う。 (6) 民生委員や自治公民館長がお葬式に関わった事例や死後の遺品整理や死後手続きに携わった事例等があるか。 (7) 霧島市などが身寄りのない方の「支援ガイドライン」を作成している。他の自治体でも作成の動きがあるようだが、県内の動向、本市の考えを伺う。 (8) 少子化などで無縁墓が増加していると思うが、墓地の改葬の申請・墓じまいなど、本市の現状と管理されないお墓の課題を伺う。 3. 川内原発の安全対策について (1) 川内原発の 20 年延長が知事に許可され、次世代炉の建設まで言われ始めた。高速増殖炉もんじゅの廃炉や川内原発の使用済燃料プールも間もなく満杯で、乾式貯蔵を選択すると半永久的に事故・被曝の不安にさらされることになる。30 キロ圏内の市長としてこれらの懸念・不安への基本的な見解を伺う。 (2) 能登半島地震では、志賀原発も被災した。原発付近では活断層は問題なしとされていたが、実際は隣接地に活断層があり予想を超える被害となった。川内原発の活断層の調査状況、現状について伺う。また川内原発の敷地内、周辺部の活断層については、どのように認識しているのか。 (3) 本市のモニタリングポストの設置状況、能登半島地震で発生したデータのトラブルと同様の事態への本市の対策を伺う。 (4) 原発事故時の避難計画をめぐるアンケート結果では、30 キロ圏内の 9 市町のうち 5 市町が計画見直しに言及、本市は「どちらかと言えば必要ない」と回答している。「避難道路の寸断は想定していない」としたが、回答の判断はどうだったのか伺う。 (5) 能登半島地震では、道路が寸断され集落が孤立した。川内原発で同様な集落孤立の事態になった場合、安定ヨウ素剤の配布が難しくなると思うが、備蓄場所の見直しが必要ではないか。
---	-------	----	---

一般質問通告順序表

No.2（令和7年6月17日）

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
6	江口 祥子	市長	1. 障害者手帳のデジタル化について (1) デジタル障害者手帳の活用と身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付状況について伺う。 (2) 障害者手帳を提示することにより割引を受けられる公共施設やその他のサービスについて伺う。 (3) 障害者手帳の情報をスマートフォンで表示できるアプリ「ミライロID」を導入してはどうか伺う。 2. マイナ保険証の利用について 令和6年12月2日から従来の健康保険証は新規発行されなくなり、その後はマイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）を基本とする仕組みに移行している。 (1) マイナ保険証の普及と利用促進の広報活動について伺う。 (2) マイナンバーカードを保有していない方への対応について伺う。 (3) マイナ保険証を利用することによるメリットについて伺う。
7	高木 章次	市長 教育長	1. 本市の農業について 米不足問題により農業に注目が集まっている。本市の農業問題とその改善を考えるチャンスではないかと思うがいかがか。 2. 洋上風力発電について 洋上風力発電の先進地に関する調査について伺う。 3. 長崎鼻公園再整備事業について 現在計画している長崎鼻公園再整備事業（リニューアル計画）に、ホテルアクシアくしきの、長崎鼻灯台に続く松林、海水プール、堤防などを含めて、現在の計画よりも広い範囲で整備し、より充実した楽しい内容にすべきではないか。 4. 図書館について (1) 薩摩川内市の市立図書館は、夜は9時までの開館時間となっている。本市も同様の対応が出来ないか伺う。 (2) 蔵書を現状より充実した内容にするために、規模の大きな図書館を新設する必要があると思うがいかがか。 5. 川内原発について (1) 屋内退避計画について、本市からの原子力規制委員会への意見は反映されたか伺う。 (2) N95マスクの事故時の有効性について伺う。

8	田中 和矢	市長	1. 水道基本料免除で市民の生活支援を 食料品・電気代・ガソリンの高騰等で市民の生活は厳しい状況である。市ができる施策の一つとして水道基本料の免除を更に数ヶ月延長して生活援助をすべきではないか。 2. 防災訓練を全まちづくり協議会で実施すべき 先日、中央地区まちづくり協議会の住民約 70 名で実施。梅雨の豪雨による内水氾濫・地震・津波対策、避難所でのダンボールベッド、非常食やトイレ、独居者・歩行困難者の対応、ハザードマップ・気象情報の読み方など有意義であった。市内 16 のまちづくり協議会全部に市が率先して実施する考えはないか。 3. 西塩田町の県営串木野団地付近に外灯の設置を 県営団地入口から A コープ串木野店周辺の夜間はかなり暗く歩行者の安全に不安がある。住民からの外灯設置の要望が強い。団地の住人には若い女性や学生が多く、安心して歩けない。犯罪・事故防止の為に早めに対処すべきではないか。 4. 技能研修生の交通マナー指導を 市内に外国人学生や研修生が増えている。交通マナーを守らず、市民が危険な目に遭い、実際に接触したりするケースもある。ルール遵守の徹底を本人だけでなく、勤務先等にも申し入れをすべきではないか。 5. 串木野高校に情報系学科の設置を 高校無償化で串木野高校の定員割れが更に進む懸念がある。社会全体の D X 化が進む中、情報系学科を新設し、生徒の確保と学校存続を図る努力が必要ではないか。
9	福田 清宏	市長 教育長	1. 中国風庭園「冠嶽園」の一部改築について (1) 游歩廊（展示室）と八蓬閣の接合部分の柱や梁が、数 10 c m 下がり始めて久しくなるが、改築の計画はないか伺う。 (2) 庭園の手入れは、年 1 回でも、専門家が行っているのか伺う。 2. 自治公民館への加入促進について (1) 自治公民館への加入促進の手立てについて伺う。 (2) 自治公民館加入状況調査は、今年度より実施しないことになったと聞くが、その理由について伺う。 3. 五反田川左岸導流堤に沿う歩道の改修について (1) 潮の干満による砂の吸出しがあるようで、歩道のあちこちが陥没し、三角コーンやコーンバーが置かれているがどのように改修する予定があるのか伺う。